

就任のごあいさつ

『トランスフォーメーション2.0』

「100年に一度のチャンスに出会えた幸運。」

福井の未来へ挑戦をつなぐ



福井商工会議所

会 頭 (第21代) 八木 誠一郎

このたび、皆様のご推挙により、引き続き福井商工会議所会頭を拝命いたしました。会員企業と地域経済の持続的な成長を支えるべく、誠意、職務を全うしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年3月16日、北陸新幹線が福井まで延伸開業し、福井はまさに100年に一度の好機を迎えました。この歴史的なチャンスは、地域経済や社会に大きな期待と可能性をもたらしました。こうしたチャンスに出会えた幸運を、一過性のにぎわいや短期的な経済効果にとどめることなく、持続可能な地域の発展と企業の成長へと確実につなげていくことが、今まさに求められています。

その実現に向けて重要となるのが、「共創の力」「挑戦の力」「支える力」という三つの力だと考えています。まず、「共創の力」は、行政・企業・地域・業種など、さまざまな垣根を越えて連携し、新たな価値や仕組みを生み出していく力で

す。次に、「挑戦の力」は、急速に変化する社会経済環境に果敢に立ち向かい、自らの可能性を信じて前進していく力です。そして、それらの取り組みをしっかりと支え、成果へと導いていくのが「支える力」です。

こうした認識のもと、これまでの3カ年で福井商工会議所が取り組んできた「ローカル(地域)」「ビジネス(企業)」「チェーンバー(商工会議所)」の三位一体の変革をさらに深化させ、新たな基本方針テーマとして「トランスフォーメーション2.0」を掲げます。地域・企業・会員の皆さまとともに、「共創の力」「挑戦の力」「支える力」という三つの力を高め合い、最大限に発揮しながら、福井の未来に向けて挑戦の灯を絶やさず、次代へとつなぐ取り組みを進めてまいります。

まず、「ローカルトランスフォーメーション2.0」では、新幹線開業による経済効果を点から線、さらに面

へと広げ、地域全体への持続的かつ広範な波及効果を目指していきます。その中核的プロジェクトが福井アリーナの整備であり、推進体制を強化し、地域全体を巻き込みながら一体となって取り組んでまいりますと考えていますので皆様の格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、福井駅周辺のリノベーション拡大や北陸・関西圏および新幹線沿線地域との経済交流・連携の深化に取り組むほか、

北陸新幹線の小浜・京都ルートでの大阪延伸に向けた早期着工を後押しするため、関西・北陸の経済界との連携強化にも力を注いでまいります。さらに、2028年に開催予定の「全国商工会議所観光振興大会in福井」の成功に向けて、万全の準備を進めていきたいと思っております。

次に、「ビジネストランスフォーメーション2.0」では、変化に強く持続的な成長が可能な企業づくりを支援します。経営戦略の転換や新たな

事業創出に向けた挑戦による「稼ぐ力」の強化、持続的な賃上げが可能となる経営基盤づくり、人材確保に向けた採用チャネルの多様化、生産性向上・省力化の支援強化、産学連携あるいは企業間連携によるデジタル化の推進などに取り組めます。さらに、女性や若者によるスタートアップ・事業承継の促進のほか、米国税など地政学リスクへの対応にも力を入れてまいります。

そして、「チェーンパートナーシップ2.0」では、福井商工会議所自身の変革を進めてまいります。会員の皆様とのネットワークの深化、専門性の高い支援サービスの提供、AIなどのデジタル技術を活用した支援力の向上により、価値を共創するパートナーとして信頼される存在を目指してまいります。

今後とも、皆様の深いご理解と力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会頭就任のご挨拶とさせていただきます。